

# 重層的支援構造で見る生徒指導体制チェックシート

群馬県教育委員会義務教育課

課題への対応（リアクティブ）	困難課題対応的生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コーディネーター役の教員（教育相談主任等）を位置付けて組織的な体制を整えている。</li> <li><input type="checkbox"/> 困難な課題に直面した際、機動的連携型支援チームに管理職や養護教諭、SCやSSW等を加えた校内連携型支援チームを招集し、ケース会議を開いている。</li> <li><input type="checkbox"/> 有事の際の、校外の関係機関を含めたネットワーク型支援チームでの支援を想定し、日頃から、教育委員会や児童相談所、警察等、校外の関係機関と連絡を取り合っている。</li> <li><input type="checkbox"/> いじめの重大事態が疑われる事案が発生した際、速やかに市町村教育委員会へ相談している。</li> <li><input type="checkbox"/> 犯罪行為と取り扱われるべきいじめに対しては、速やかに警察署と連携して対処している。</li> <li><input type="checkbox"/> 不登校を問題行動と捉えず、SCやSSW等専門スタッフによる適切なアセスメントのもと、組織的に支援に当たり、必要に応じて外部機関との連携も行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 不登校児童生徒の学びの保障に向け、ICTや学校内外の多様な教育機会の積極的な活用を図っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 事案の解消や終結後、一連の対応の成果と課題を共有し、次の指導・援助につなげている。</li> </ul>	特別な援助が必要な児童生徒に対して
	課題早期発見対応	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 定期的にいじめアンケート（生活アンケート）を実施するとともに、実施後には速やかに内容を確認している。</li> <li><input type="checkbox"/> 日常の観察の様子や、いじめアンケート結果を学年会等の場で定期的に共有し、気になる児童生徒を早期に見いだすスクリーニングを行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 早期の段階で課題が発見されたときには、担任一人で抱え込むことなく、学年主任や生徒指導主事等と協力した機動的連携型支援チームで対応している。</li> <li><input type="checkbox"/> 法に基づいた認知のもと、いじめの発見をした際には、特定の教職員で抱え込まず、学校いじめ対策組織に情報を集約している。</li> <li><input type="checkbox"/> いじめの解消については、①行為がやんでいること②被害者が苦痛を感じていないことを本人や保護者に確認した上で判断している。</li> <li><input type="checkbox"/> 不登校の予兆が見られた際には、保護者・養護教諭・SC等と連携して支援に当たっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 長期休業前には通信等を利用して相談窓口の周知を行っている。</li> </ul>	気になる児童生徒に対して
日常的な生徒指導（プロアクティブ）	課題未然防止教育	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 下地となる生命や健康に関する授業（道徳や保健体育）の実施のもと、SOSの出し方・受け止め方に関する授業を計画的に年1回以上実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 道徳科や学級活動の時間に、児童生徒が自校のいじめ防止基本方針の理解を深めるとともに、いじめの問題を自分事として捉え、考え、議論する授業を実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> いじめ防止フォーラムや市町村のいじめ防止子ども会議の成果を、特別活動等の時間において、自校のいじめ防止教育に活用している。</li> <li><input type="checkbox"/> 学校いじめ防止基本方針を教職員・保護者・地域で共有している。（研修の実施、ホームページでの公開等）</li> <li><input type="checkbox"/> ネットいじめや犯罪被害、依存症の防止に向けた情報モラル教育を計画的に実施している。（県ネットリテラシー向上教材や情報モラル講習会の実施等）</li> <li><input type="checkbox"/> 警察との連携を通して、交通安全教室・薬物乱用防止教室・非行防止教室等を計画的に実施している。</li> </ul>	全ての児童生徒に対して
	発達支持的生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 誰もが「分かる授業」「面白い授業」の展開に向けた授業改善に取り組んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> 教師と児童生徒の信頼関係や児童生徒相互の温かな人間関係づくりに向けた学級経営や授業の充実に取り組んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> 授業で「自らの意見を述べる」「自ら考え、選択し、決定する」「アイデアを形にし、発表する」等の体験を意図的に設定している。</li> <li><input type="checkbox"/> いじめや暴力行為には毅然と立ち向かうとともに、挑戦や失敗、互いの個性や多様性を認め合えるような風土づくりに向けた学級経営の充実に取り組んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> 学級目標やルール、係活動など決定する場面では、教師の支援のもとで、児童生徒が自分事として捉え、主体的に意見表明し、参画できる場を設定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒一人一人の強みを見付け出し、教職員間、児童生徒間で共有する場を設定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、及び、授業や行事等を通じた個と集団への働きかけを積極的に行っている。</li> </ul>	全ての児童生徒に対して